

FU プラグイン⁺ Plus

Googleスプレッドシート出力プラグイン ご利用手引書

第11版



Powered by kintone



キャップクラウド株式会社
クラウドインテグレーション事業部

ご利用手引書リリース履歴

リリース日	版情報	製品Ver.情報
2022/03/08	第1版	v2.0.0
2022/05/31	第2版	v2.0.3
2022/08/30	第3版	v2.0.4
2022/10/31	第4版	v2.1.0
2022/12/06	第5版	v2.1.0
2023/05/02	第6版	v2.1.0
2023/07/03	第7版	v2.1.0
2024/02/02	第8版	v2.1.0
2024/04/17	第9版	v3.0.0
2025/08/19	第10版	v3.0.3
2026/03/6	第11版	v4.0.0

1. プラグイン概要	… P4
2. Google 連携設定	… P5~13
3. プラグイン設定方法	… P14~22
4. プラグイン設定運用環境反映	… P23~22
5. プラグイン利用手順	… P25~29
6. 設定内容のインポートとエクスポート	… P30
7. 使用上のご注意	… P31~34

kintoneのレコードのデータをGoogleスプレッドシートに出力できます。キーとする項目を設定することで、スプレッドシートに出力済のデータをkintoneのアプリ上で編集した際に、スプレッドシート上のデータもあわせて更新します。

<操作イメージ>

プラグイン適用アプリで一括登録を実行

出力内容

シート名	同期件数
all	108件

出力先スプレッドシート内の一番左に位置するシートのデータが上書きされます。
※未設定と空(カラ)設定の列にはデータ上書きされません。

作成 キャンセル

アプリ内のすべてのレコードがスプレッドシートに出力される

得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所1
C0000000045	スズキ商事株式会社	C	2018-06-26	メーカー	
C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	2018-06-25	ユーザー	福岡県福岡市
C0000000043	株式会社DT情報サービス	B	2018-06-24	ユーザー	北海道札幌市
C0000000042	木曾川商事株式会社	B	2018-06-23	ユーザー	
C0000000041	株式会社DT情報サービス	A	2018-06-22	ユーザー	東京都千代田
C0000000040	株式会社日高電機	A	2018-06-21	ユーザー	
C0000000039	株式会社DT情報サービス	NG	2018-06-20	ユーザー	
C0000000038	株式会社日高電機	A	2018-06-19	ユーザー	島根県出雲市
C0000000037	株式会社傘雲	B	2018-06-18	ユーザー	神奈川県横浜
C0000000036	株式会社傘雲	S	2018-06-17	ユーザー	東京都渋谷区
C0000000035	有限会社オノデラリア	B	2018-06-16	ユーザー	神奈川県横浜
C0000000034	株式会社エムシーシー	B	2018-06-15	ユーザー	島根県出雲市
C0000000033	上原商事	A	2018-06-14	ユーザー	東京都千代田
C0000000032	株式会社傘雲	A	2018-06-13	ユーザー	山梨県富士吉
C0000000031	傘雲商事株式会社	A	2018-06-12	ユーザー	東京都千代田

シートに出力済みのレコードをアプリ上で編集

キャンセル 保存

得意先コード: C0000000045
得意先名: スズキ商事株式会社
顧客ランク: C
取引種別: メーカー

編集内容:

得意先コード: C0000000045
得意先名: スズキ商事株式会社
顧客ランク: A
取引種別: メーカー

編集内容がスプレッドシート内のデータに同期される

A	B	C	取引
得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引
C0000000045	スズキ商事株式会社	C	
C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	

A	B	C	D
得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引開始
C0000000045	スズキ商事株式会社	A	2018-
C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	2018-
C0000000043	株式会社DT情報サービス	B	2018-

・Google Cloud Platformにログイン

本プラグインの設定前に、Google側で連携設定を行う必要があります。
Googleアカウントをご用意の上、下記手順で設定してください。

【動画公開中】 ↓Google連携設定手順はこちら
[【Google連携設定手順】Googleスプレッドシート出力プラグイン](#)

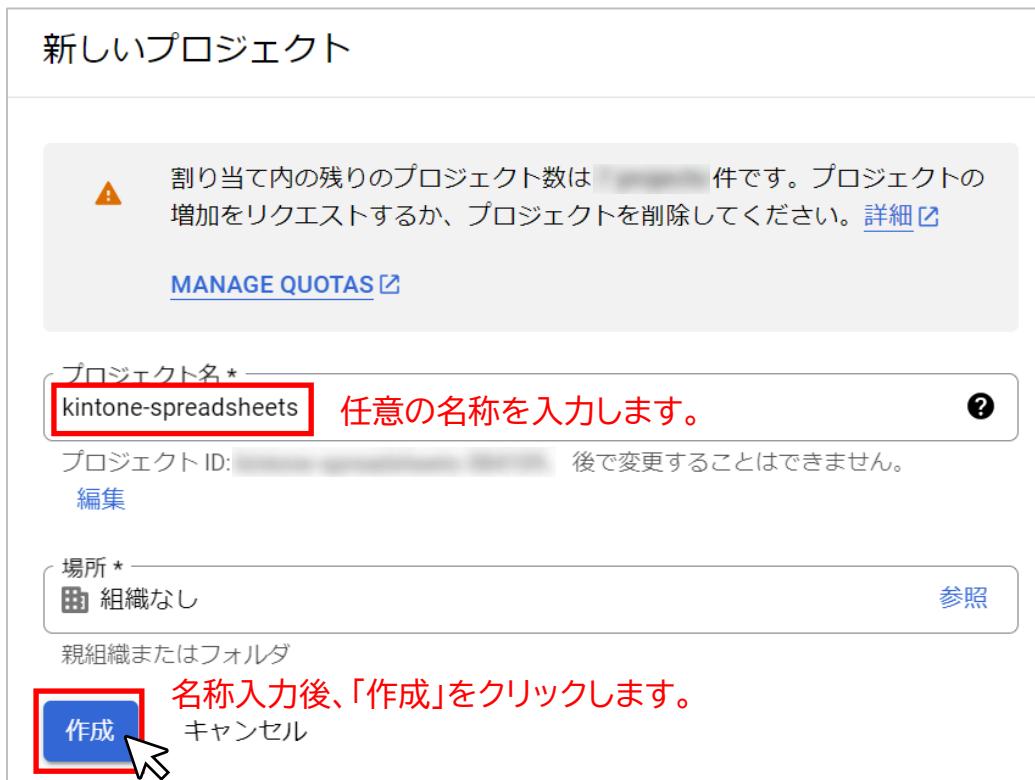
〈STEP1〉[Google Cloud Platform](#)を開き、Googleアカウントでログインします。

▼ログイン後 画面イメージ

The screenshot displays the Google Cloud Platform console interface. At the top, the navigation bar includes the Google Cloud logo, the project name 'My First Project', a search bar, and utility icons. The main content area is titled 'API とサービス' (API and Services) and features a sidebar on the left with navigation options like '有効な API とサービス' (Active APIs and Services), 'ライブラリ' (Library), '認証情報' (Credentials), 'OAuth 同意画面' (OAuth Consent Screen), and 'ページの使用に関する契約' (Agreements for Page Use). The main panel shows a grid of service status cards for 'トラフィック' (Traffic), 'エラー' (Errors), and '中央値のレイテンシ' (Median Latency). Each card includes a warning icon and the message '選択した時間帯で使用できるデータがありません。' (No data available for the selected time range). The time range is set to '1日' (1 day) on '4月18日' (April 18th), with a time axis from 'UTC+9' to '12:00'.

- ・新しいプロジェクトの作成
- ・プロジェクト名の入力

〈STEP2〉新しいプロジェクトを作成します。

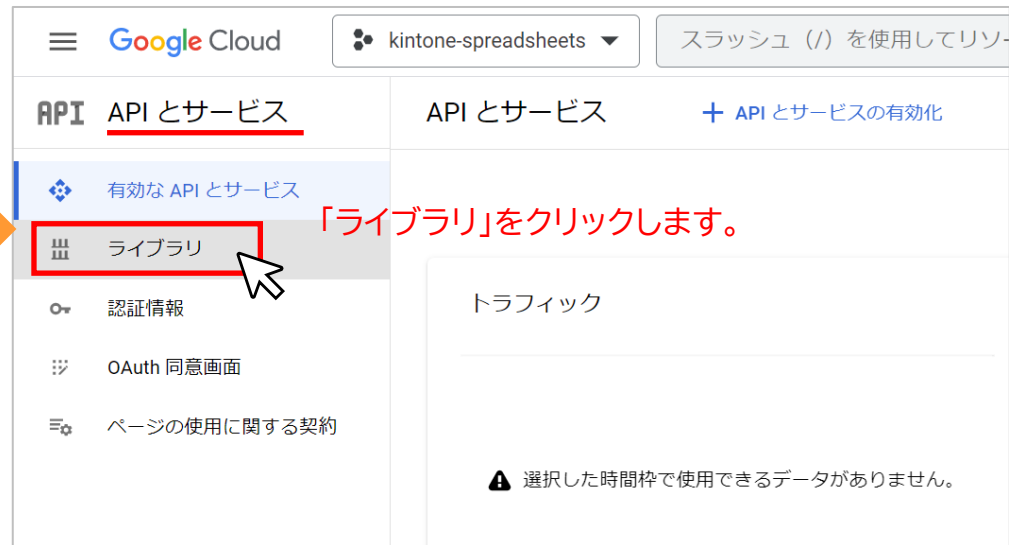


・Google Sheets APIの有効化

〈STEP3〉P6で作成したプロジェクトを開きます。



〈STEP4〉「APIとサービス」タブ内の「ライブラリ」を開きます。

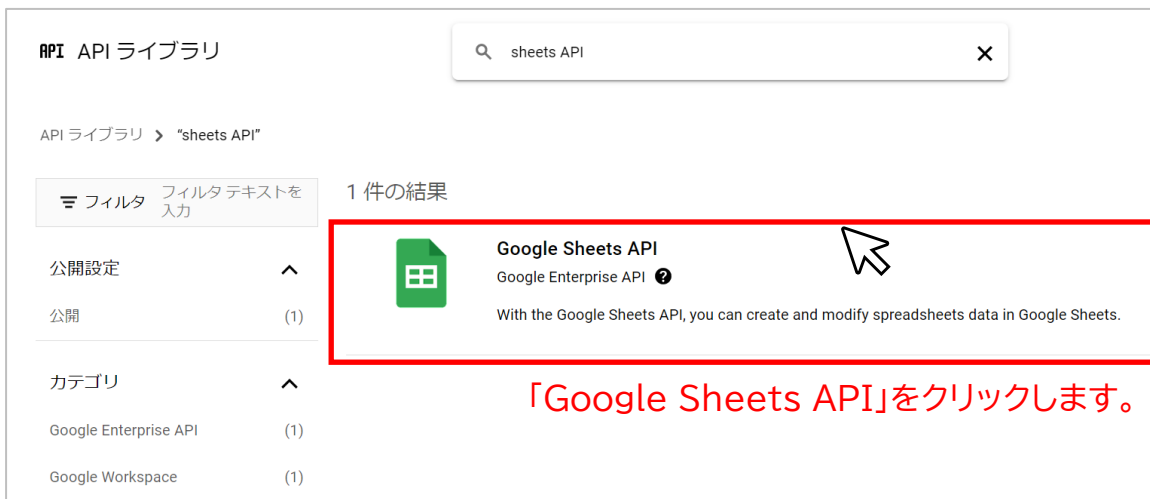


・Google Sheets APIの有効化(続き)

〈STEP5〉検索ボックスに「sheets API」と入力して検索します。



〈STEP6〉「Google Sheets API」を有効にします。



・OAuth同意画面の設定

〈STEP7〉「APIとサービス」タブ内の「OAuth同意画面」を開きます。

Google Cloud kintone-spreadsheets

スラッシュ (/) を使用してリソース、ド

API API とサービス

← API / サービスの詳細 API を無効にする

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

To use this API, you may need credentials.

Google Sheets API
Reads and writes Google Sheets.

所有者: Google Enterprise API

サービス名	タイプ	ステータス
sheets.googleapis.com	公開 API	有効

〈STEP8〉Google Auth Platformで認証情報の管理を開始します。

Google Auth Platform / 概要

概要

OAuth の概要

ブランディング

対象

クライアント

データアクセス

検証センター

Google Auth Platform はまだ構成されていません
アプリケーションの ID を構成すること、および Google API の呼び出しと
Google でログインのための認証情報を管理することを開始します。 [詳細](#)

開始

「開始」をクリックします。

・OAuth同意画面の設定(続き)

〈STEP9〉プロジェクト構成の設定画面で「アプリ情報」を設定します。
※「アプリのロゴ」「アプリのドメイン」の設定は任意です。

プロジェクト構成

1 アプリ情報

アプリ名*
スプレッドシート連携 **任意のアプリ名を入力します。**

同意を求めるアプリの名前

ユーザー サポートメール*
focusu.trial.sv@gmail.com **メールアドレスを選択します。**

同意に関して問い合わせる際に使用します。 [詳細](#)

次へ 「次へ」をクリックします。

〈STEP10〉「対象」を設定します。

2 対象

内部 [?](#)

組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。 [ユーザーの種類の詳細](#)

外部 [?](#)

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができれば、アプリの確認が必要となる場合があります。 [ユーザーの種類の詳細](#)

次へ 「次へ」をクリックします。

〈STEP11〉「連絡先情報」を設定します。

3 連絡先情報 **メールアドレスを入力します。**

メールアドレス*
focusu.trial.sv@gmail.com

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

次へ 「次へ」をクリックします。

〈STEP12〉ユーザーデータに関するポリシーに同意します。

4 終了 **チェックをつけます。**

[Google API サービス: ユーザーデータに関するポリシー](#) に同意します。

続行

作成 キャンセル
「作成」をクリックします。

【参考】対象について

対象は、利用状況に応じて選択してください。

(社内利用の場合は「内部」、社外との共有に利用する場合は「外部」など) 基本的には「内部」を推奨しますが、アプリ利用者に組織外のユーザーがいる場合は「外部」をご設定ください。

※詳細は[こちら](#)(Google Cloud Platform Consoleヘルプ)

・OAuth同意画面の設定(続き)

<STEP13>「Google Auth Platform」タブ内の「ブランディング」を開きます。

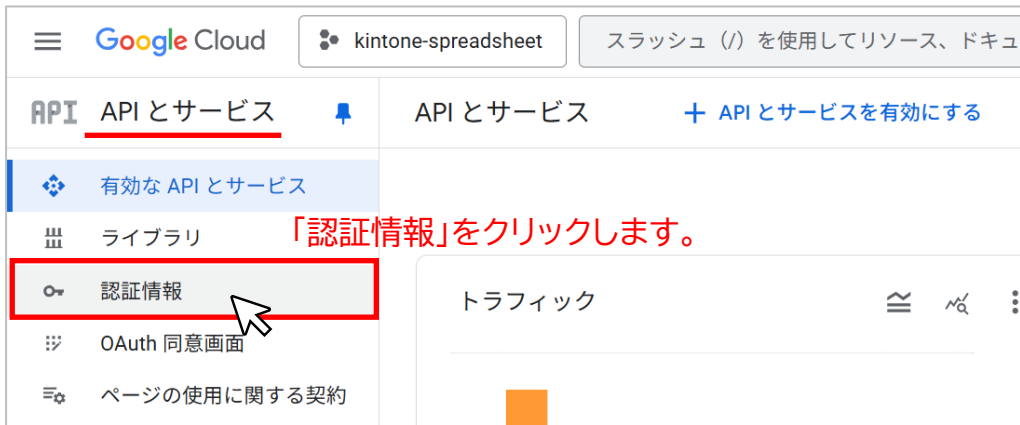
<STEP14>「承認済みドメイン」を設定します。



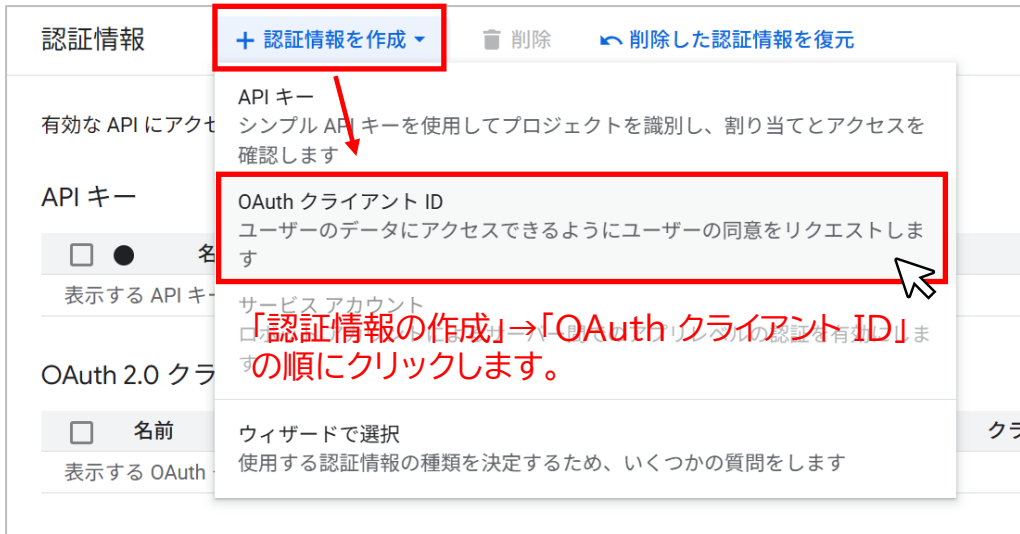
【参考】「アプリのロゴ」「アプリのドメイン」の設定は任意です。

・OAuth クライアントID の発行

〈STEP15〉「APIとサービス」タブ内の「認証情報」を開きます。



〈STEP16〉OAuth クライアントIDを作成します。



発行後は、このようなポップアップが表示されます。

OAuth クライアントを作成しました

クライアントIDとシークレットには、常にAPIとサービスの認証情報からアク...

← OAuth クライアント ID の作成

アプリケーションの種類* **「ウェブ アプリケーション」を選択します。**
ウェブアプリケーション 選択後に以下の設定欄が表示されます。

名前* **任意の名称を入力します。**
kintone

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

❗ 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 ⓘ

ブラウザからのリクエストに使用します

プラグインを利用するkintone環境のURLを入力します。

URI 1*
https://XXXXX.cybozu.com

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI ⓘ

ウェブサーバーからのリクエストに使用します

+ URI を追加 承認済みのリダイレクトURLの設定は任意です。

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

「作成」をクリックします。
作成 キャンセル クリック後、クライアントIDが発行されます。

・APIキーの発行

〈STEP17〉APIキーを作成します。

認証情報

+ 認証情報を作成

削除 削除した認証情報を復元

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

OAuth クライアント ID

API キー

シンプル API キーを使用してプロジェクトを識別し、割り当てとアクセスを確認します

OAuth クライアント ID

サービス アカウント

ロボット アカウントによるサーバー間でのアプリレベルの認証を有効にします

ウィザードで選択

使用する認証情報の種類を決定するため、いくつかの質問をします

名前 ↑

「認証情報の作成」→「APIキー」の順にクリックします。
クリック後、APIキーが発行されます。

作成後は、このようなポップアップが表示されます。

API キーを作成しました

アプリケーション内で使用するには、このキーを `key=API_KEY` パラメータとして渡す

【参考】発行済みの「OAuth クライアントID」「APIキー」は、認証情報から確認できます。

API API とサービス

認証情報

+ 認証情報を作成

削除 削除した認証情報を復元

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

名前	作成日 ↓	制限	操作
API キー 1	2025/08/19	-	鍵を表示します

OAuth 2.0 クライアント ID

名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
kintone	2025/08/19	ウェブ アプリケーション	...	

・アプリにプラグインを追加

プラグインインストール後の設定方法を記載しております。
 プラグインのインストール方法がご不明な場合は、下記をご参照ください。
https://jp.cybozu.help/k/ja/id/0408.html#add_plugin_plugin_10

<STEP1>アプリの一覧画面からプラグイン設定画面を開きます。



<STEP2>「追加する」をクリックします。



<STEP3>「Googleスプレッドシート出力プラグイン」にチェックを入れ、画面右下の「追加」をクリックします。



<STEP4>設定「⚙️」マークをクリックします。



<STEP5>プラグインの設定画面が表示されます。



- ・ライセンスキーの設定
- ・GoogleAPIkey、クライアントIDの設定

〈STEP6〉 Google 連携設定7、8(P12~13)で発行したAPIキーとOAuth2.0 クライアントIDを入力します。

ライセンスキー

ライセンスキーを入力します。
※ライセンスキーは別途ご案内します

基本設定項目

GoogleAPIKey* 「APIキー」を入力します。

クライアントID* 「OAuth クライアントID」を入力します。

スプレッドシート番号*

キー項目選択 (kintone) *

API API とサービス

認証情報 + 認証情報を作成 削除 削除した認証情報を復元

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	制限	操作
<input type="checkbox"/>	API キー 1	2025/08/19	-	鍵を表示します

OAuth 2.0 クライアント ID

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
<input type="checkbox"/>	kintone	2025/08/19	ウェブ アプリケーション	<input type="text"/>	鍵を表示します

・キー項目の設定

〈STEP8〉キー項目選択(kintone) を設定します。

kintoneのアプリ上でレコード編集や追加を行った際、ここで指定したフィールドの値をキーに、既にスプレッドシート上にデータが存在する場合は更新処理、データが存在しない場合は新規追加処理を行います。

スプレッドシート番号*

1kbLAKODVWNweTT3b-tcfgO4bRv2Cv3CM

キー項目選択 (kintone) *

得意先コード

リンク

レコード番号

キーに利用するフィールドをプルダウンから選択します。
フィールド名を直接入力して検索することもできます。

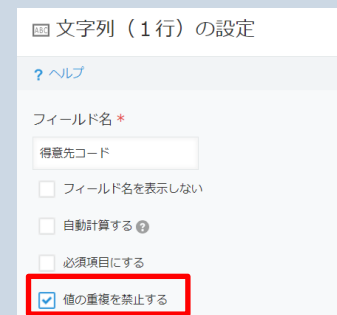
キー列選択 (spreadSheet) *

※キー列は後から設定します。

グルーピング項目選択

【ご注意】キー項目について

レコード番号、もしくは重複不可の設定をしているフィールドのみ対応しています。
フォーム内にレコード番号を配置していない場合や、“値の重複を禁止する”設定をしていない場合、プルダウンにフィールドが表示されませんので、ご注意ください。



・グルーピング項目の設定(任意)

〈STEP9〉グルーピング項目選択を設定します。

グルーピング項目を設定することで、指定したフィールドの値ごとに、スプレッドシートの複数シートに分けて出力します。

キー列選択 (spreadSheet) * --- ※キー列は後から設定します。

グルーピング項目選択 顧客ランク グルーピングの条件として利用するフィールドをプルダウンから選択します。フィールド名を直接入力して検索することもできます。

レコード出力モード* 全上書き 部分更新 kintoneレコードを更新した際のスプレッドシート側への更新方法を選択します。kintoneを1レコード更新すると、「全上書き」ではスプレッドシートの全レコードを上書きし、「部分更新」では対象レコードのみ更新します。

Google認証ボタン表示 ユーザーを入力 選択

ユーザー選択 管理者

一括出力ボタン表示 ユーザーを入力

ユーザー選択 管理者

【参考】グルーピング項目利用時の出力イメージ (詳細はP27参照)

	A	B	C	D	E	F
1	得意先コード	得意先名	支社	顧客ランク	取引種別	郵便番号
2	C0000000044	株式会社DT情報サービス	九州支店	S	ユーザー	812-0012
3	C0000000043	株式会社DT情報サービス	札幌	B	ユーザー	060-0807
4	C0000000042	木曾川商事株式会社	大阪支店	B	ユーザー	753-8501
5	C0000000041	株式会社DT情報サービス	東京本社	A	ユーザー	920-8580
6	C0000000040	株式会社日高電機	札幌支社	A	ユーザー	862-8570
7	C0000000039	株式会社DT情報サービス	大阪支社	NG	ユーザー	981-0916
8	C0000000038	株式会社日高電機	本社	A	ユーザー	111-XXXX
9	C0000000037	株式会社傘雲	本社	B	ユーザー	227-XXXX
10	C0000000036	株式会社傘雲	渋谷支社	S	ユーザー	562-XXXX
11	C0000000035	有限会社オノデラリペア	横浜	S	ユーザー	079-XXXX
12	C0000000034	株式会社エムシーシー	山陰支社	S	ユーザー	812-0012
13	C0000000033	上原商事	東京本社	A	ユーザー	060-0807

※レコード出力モードはVer.4.0.0より搭載

【ご注意】グルーピング項目について

一部ご利用いただけないフィールドタイプがございます。詳細は「使用上の注意」をご参照ください。(P31参照)

・各ボタン表示ユーザーの設定

〈STEP10〉Google認証ボタン・一括出力ボタンを表示するユーザーを設定します。
ここで選択したユーザーにのみ各ボタンを表示することで、実行を制限できます。

(補足)Ver.4より「一括登録」ボタンが「一括出力」に変更になりましたが、
スプレッドシートへの「登録」の表記はそのままとしています。

枠内にユーザーの表示名もしくはログイン名を入力し、目当てのユーザーをクリックして選択します。

Google認証ボタン表示
ユーザー選択

ユーザーを入力 選択

管理者

「選択」ボタンをクリックして、組織やグループ情報からユーザーを選択することもできます。



一括出力ボタン表示
ユーザー選択

ユーザーを入力 選択

管理者 ×
佐藤 ×

選択したユーザーが表示されます。
「×」ボタンでユーザーを削除できます。

【参考】レコード一覧画面

▼両方のボタンを表示

数値1	テスト数値2	得意先コード	得意先名	グループ選択	取引種別	重複不可日付	重
	72	A004	阿部商事株式会社		特約店	2024-02-11	20
	37	N001	長島商事株式会社		ユーザー	2024-02-12	20

▼Google認証ボタンのみ表示

別	得意先コード	得意先名	支社	住所 1	会社メ
	A001	愛知マート株式会社	愛知マート 株式会社	愛知県名古屋市中区錦X-X-XX	aichi@e
	A003	厚木産業 株式会社	厚木産業 株式会社	神奈川県厚木市葉山X-XX-XX	samplec

・スプレッドシートとフィールド項目の設定

〈STEP11〉スプレッドシートに出力するkintoneフィールドと、出力先のスプレッドシート列を設定します。左側の「出力候補のkintoneフィールド」欄から、スプレッドシートに出力したいフィールドを右側の「出力するGoogleスプレッドシート列」欄の枠内にドラッグ&ドロップします。

スプレッドシートとフィールド項目を設定

各ボタンについては次ページ(P21参照)

スプレッドシートに一括セット

スプレッドシート列クリア

5

追加

5

削除

kintoneフィールド

Googleスプレッドシート列へマッピング

フィールドの検索

フィールドの検索

フィールド名を直接入力して検索できます。

得意先コード (customerCode)

得意先名 (customerName)

支社 (branchOffice)

カナ索引 (kanaIndex)

顧客ランク (rank)

取引種別 (tradingType)

敬称 (keisyo)

チェックボックス (チェックボックス)

複数選択 (複数選択)

リード会社コード (leadCompanyCode)

会計共通コード (parentCompanyCode)

A 得意先コード (customerCode)

B 得意先名 (customerName)

C

D

E

F

支社 (branchOffice)

「×」ボタンでフィールドを削除できます。

【参考】列のアルファベット部分をダブルクリックすると、その列が画面中央に位置して表示されます。フィールド検索から列移動に便利です。

「+」「-」ボタンで行を増減します。

【参考】F11キー押下で全画面表示

【ご注意】

- ・キー項目がスプレッドシートのいずれかの列に出力されていないと、アプリ上での編集内容がスプレッドシートに正しく反映されません。P17で選択したキー項目を必ず設定してください。
- ・出力先として選択可能なスプレッドシートの列はAからZZZ列までとなります。

・スプレッドシートとフィールド項目の設定

〈STEP11〉続き スプレッドシートに出力するkintoneフィールドと、出力先のスプレッドシート列を設定します。

出力候補のkintoneフィールド欄の全てのフィールドを
出力するGoogleスプレッドシート列欄に一括で登録します。

出力するGoogleスプレッドシート列欄の
枠内に登録済のフィールドをすべて削除します。

スプレッドシートに一括セット スプレッドシート列クリア 5 追加 5 削除

「出力するGoogleスプレッドシート列」欄の枠を追加・削除できます。
 追加:プルダウンで選択した数の空の枠を最下部に追加
 削除:プルダウンで選択した数の枠を最下部から順に削除

【ご注意】枠の削除について
 削除の場合、フィールドを設定済みの枠も削除されます。
 フィールドを設定済みの場合は、操作にご注意ください。

【参考】
 アプリのデータを出力しない列(空設定の列)を設けることも可能です。
 スプレッドシート上でデータを追記したい場合などにご活用ください。

・キー列の設定

〈STEP12〉キー列選択(spreadSheet) を設定します。
P20で設定した、キー項目が出力されるスプレッドシートの列を設定します。

キー項目選択 (kintone) *

レコード番号 x | v

キー列選択 (spreadSheet) *

グルーピング項目選択

A

レコード出力モード*

全上書き 部分更新

Google認証ボタン表示
ユーザー選択

ユーザーを入力

選択

管理者 x

一括出力ボタン表示
ユーザー選択

ユーザーを入力

選択

管理者 x

「V」ボタンをクリックし、キー列を選択します。
P20で設定した出力先の列からキー項目を設置した列のみ
が絞り込まれて表示されます。

【参考】キー項目の出力先の列が複数存在する場合
プルダウンに複数の選択肢が表示されますが、
選択した列の違いによる影響はありません。
いずれか1つをご選択ください。

A

J

基本設定項目の注意点

・キー項目選択 (kintone) はレコード番号、もしくは重複不可の設定をしているフィールドになります。

プラグイン設定は設定画面で設定内容を保存した後、アプリ設定画面で「アプリを更新」を押す事で運用環境に設定内容が反映します。

<STEP1>プラグイン設定画面で「保存」をクリックします。



<STEP2>表示されたダイアログの「アプリの設定」をクリックします。



プラグインの設定が保存されました。
変更を反映するには、**アプリの設定**に戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。

<STEP3>「アプリを更新」をクリックします。



<STEP4>一覧画面上部に、「Google認証」「一括出力」の2つのボタンが表示されていることを確認します。

	得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所 1	担当者名	敬称	
	C0000000045	スズキ商事株式会社	A	2018-06-26	メーカー		鈴木 太郎	様	
	C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	2018-06-25	ユーザー	福岡県福岡市博多区博多駅中央街		様	
	C0000000043	株式会社DT情報サービス	B	2018-06-24	ユーザー	北海道札幌市北区北七条西	小野間 晴彦	様	
	C0000000042	木曽川商事株式会社	B	2018-06-23	ユーザー		鈴木 隆	様	
	C0000000041	株式会社DT情報サービス	A	2018-06-22	ユーザー	東京都千代田区丸の内	佐藤 栄作	様	
	C0000000040	株式会社日高電機	A	2018-06-21	ユーザー		高木 英明	様	
	C0000000039	株式会社DT情報サービス	NG	2018-06-20	ユーザー			様	
	C0000000038	株式会社日高電機	A	2018-06-19	ユーザー	島根県出雲市上島町	林 一郎	様	

・Google認証の実行

<STEP1>Googleアカウントを使ってGoogle認証をします。

「Google認証」をクリックします。

	得意先コード	得意先名	顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所 1
	C0000000045	スズキ商事株式会社	A	2018-06-26	メーカー	
	C0000000044	株式会社DT情報サービス	S	2018-06-25	ユーザー	福岡県福岡市博多区博多駅中央街
	C0000000043	株式会社DT情報サービス	B	2018-06-24	ユーザー	北海道札幌市北区北七条西
	C0000000042	木曾川商事株式会社	B	2018-06-23	ユーザー	
	C0000000041	株式会社DT情報サービス	A	2018-06-22	ユーザー	東京都千代田区丸の内
	C0000000040	株式会社日高電機	A	2018-06-21	ユーザー	
	C0000000039	株式会社DT情報サービス	NG	2018-06-20	ユーザー	

▼Google認証画面イメージ



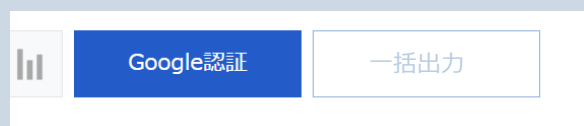
【ご注意】Google認証について

下記の場合、Google認証が無効化します。

- ・最後の処理から1時間経過
- ・ブラウザ(タブ)を閉じる

認証が無効化すると「Google認証」ボタンが青色に表示されますので、再度「Google認証」をクリックし認証を行ってください。

▼「Google認証」が無効化した状態



▼「Google認証」が有効な状態



【補足】Google再認証後の処理について(ver.4.0.0以降)

- ・Google認証セッション切れが発生した場合、再認証後に処理を継続されます。
- ・操作中で認証切れが発生した場合はダイアログで通知され、再認証後に処理を再開できます。

・アプリの全レコードのデータをスプレッドシートに一括登録

<STEP2>現在のアプリ内のレコードの情報をスプレッドシートへ一括登録します。

グルーピング項目を利用していない場合：アプリ内の全レコードを1シートに出力します。

「一括出力」をクリックします。

顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所 1	担当
S	2018-05-09	ユーザー	愛知県名古屋市中区錦X-X-XX	沢井
S	2018-05-11	代理店	神奈川県厚木市葉山X-XX-XX	遠藤
B	2018-05-12	特約店	東京都港区東麻布5丁目12-34	阿部
D	2018-05-13	ユーザー	東京都文京区後楽園X-X-X	長田

一覧を絞り込んだ状態で「一括出力」を実行すると、絞り込みされたデータのみがスプレッドシートに登録されます。(Ver.4.0.0以降の機能)

【ご注意】

一括登録を行うと、スプレッドシートの内容が上書きされます。既にスプレッドシートにデータが存在する場合は、操作にご注意ください。※セル内の色塗りや文字大きさなどの書式に関する設定は上書きされません。

<グルーピング項目設定無のとき>

出力先スプレッドシート内の一番左に位置するシートのデータが上書きされます。目次などの既存シートを一番左に配置しないようご注意ください。未設定の列と空(カラ)設定している列にはデータは上書きされません。

出力内容を確認し、「作成」をクリックします。

シート名	同期件数
all	108件

一括出力が完了しました。

	C	D	E
	ステータス	クライアント名	プロジェクト開始日
企画制作	開始前	株式会社 山口商事	2024-03-21
作成	開始前	もみじデパート	2024-03-21
の制作	進行中	有限会社ミナミ	2024-03-21
作	進行中	株式会社 ミナミ	2024-03-21
主	進行中	青井商事株式会社	2024-03-21
	進行中	厚木産業 株式会社	2024-03-21
8	P-00195	ブランドムービーの企画制作	進行中 青井商事株式会社 2024-03-21
9	P-00194	ブランドブックの企画制作	進行中 厚木産業 株式会社 2024-03-21
10	P-00193	展示会ブースデザイン	終了 青井商事株式会社 2024-03-21
11	P-00192	社史・記念誌の企画制作	終了 厚木産業 株式会社 2024-03-21
12	P-00191	店舗デザイン	終了 青井商事株式会社 2024-03-21
13	P-00190	営業ツールの企画制作	終了 今井百貨店 2024-03-21
14	P-00189	販促パンフレット・カタログ等の企画制作	開始前 株式会社 山口商事 2024-03-21
15	P-00188	販促Webサイトの構築	開始前 株式会社 ミナミ 2024-03-21
16	P-00187	2022年春-広報誌	開始前 株式会社 千代サービス 2024-03-21
17	P-00186	2021年11月-厚木製作所	開始前 株式会社 2024-03-21

スプレッドシートに、レコードの内容が一括登録されます。

・アプリの全レコードのデータをスプレッドシートに一括登録

<STEP2>続き 現在のアプリ内のレコードの情報をスプレッドシートへ一括登録します。

グルーピング項目を利用している場合 : アプリ内の全レコードをグルーピング項目の値ごとに複数シートに分けて出力します。

「一括出力」をクリックします。

顧客ランク	取引開始日	取引種別	住所 1	担当
S	2018-05-09	ユーザー	愛知県名古屋市中区錦X-X-XX	沢井
S	2018-05-11	代理店	神奈川県厚木市葉山X-XX-XX	遠藤
B	2018-05-12	特約店	東京都港区東麻布5丁目12-34	阿部
D	2018-05-13	ユーザー	東京都文京区後楽園X-X-X	長田

シート名	同期件数
ユーザー	99件
代理店	2件
特約店	2件
メーカー	5件

出力先スプレッドシート内に、グルーピング項目の値を名称としたシートが追加されます。
同一名称のシートが既にスプレッドシート内に存在する場合、そのシート上のデータが上書きされます。

出力内容を確認し、「作成」をクリックします。

一覧を絞り込んだ状態で「一括出力」を実行すると、絞り込みされたデータのみがグルーピングされ、スプレッドシートに登録されます。(Ver.4.0.0以降の機能)

【ご注意】

・一括登録を行うと、スプレッドシートの内容が上書きされます。既にスプレッドシートにデータが存在する場合は、操作にご注意ください。
※セル内の色塗りや文字大きさなどの書式に関する設定は上書きされません。

<グルーピング項目設定有のとき>

出力先スプレッドシート内にグルーピング項目の値を名称としたシートが追加されます。

同一名称のシートが既にスプレッドシート内に存在する場合、そのシート上のデータが上書きされます。ただし未設定の列と空(カラ)設定している列にはデータは上書きされません。

・プラグインによって作成されたシートの名称を変更すると、グルーピング機能が正常に動作しないためご注意ください。

一括出力が完了しました。

	C	D	E	F	
ナビス	支社	顧客ランク	取引種別	郵便番号	
ナビス	九州支店	S	ユーザー	812-0012	
ナビス	札幌	B	ユーザー	060-0807	
社	大阪支店	B	ユーザー	753-8501	
ナビス	東京本社	A	ユーザー	920-8580	
6	C0000000040	株式会社日高電機	札幌支社	ユーザー	862-8570
7	C0000000039	株式会社DT情報サービス	大阪支社	ユーザー	981-0916
8	C0000000038	株式会社日高電機	本社	ユーザー	111-XXXX
9	C0000000037	株式会社傘雲	本社	ユーザー	227-XXXX
10	C0000000036	株式会社傘雲	渋谷支社	ユーザー	562-XXXX
11	C0000000035	有限会社オノデラリペア	横浜	ユーザー	079-XXXX
12	C0000000034	株式会社エムシーシー	山陰支社	ユーザー	812-0012
13	C0000000033	上原商事	東京本社	ユーザー	060-0807

フィルター: ユーザー | 代理店 | 特約店 | メーカー

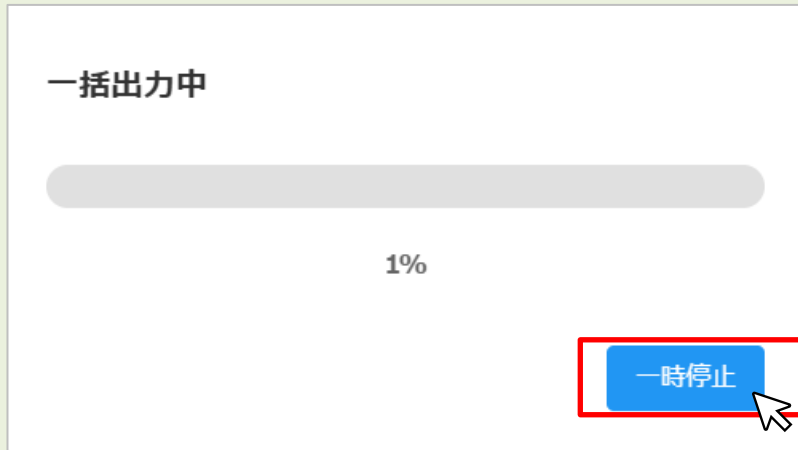
スプレッドシートに、レコードの内容が一括登録されます。シート「ユーザー」には取引種別フィールドの値が「ユーザー」のレコードのみ出力されます。

・一括出力ボタン押下後のダイアログ表示と動作について

<STEP2> 続き「一括出力ボタン」を押した後、状態に応じて以下のようにダイアログが表示されます。

グルーピング項目設定の有/無 共通：一括出力開始～完了と一時停止、再開、キャンセルの流れ

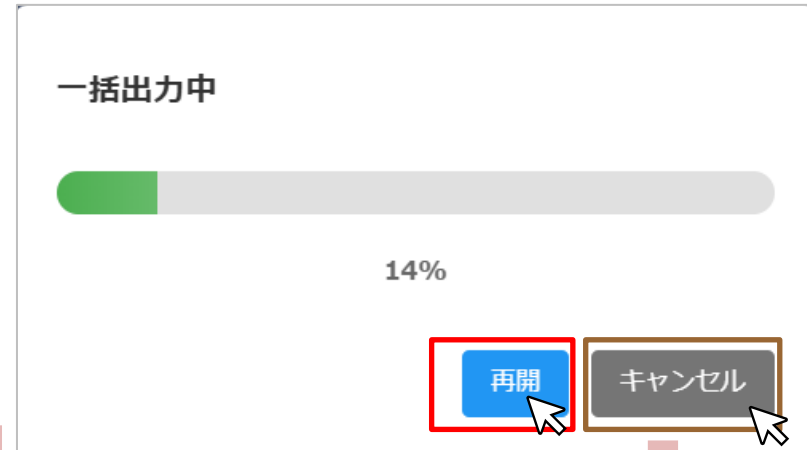
▼一括出力中



一時停止

再開

▼一時停止中



キャンセル

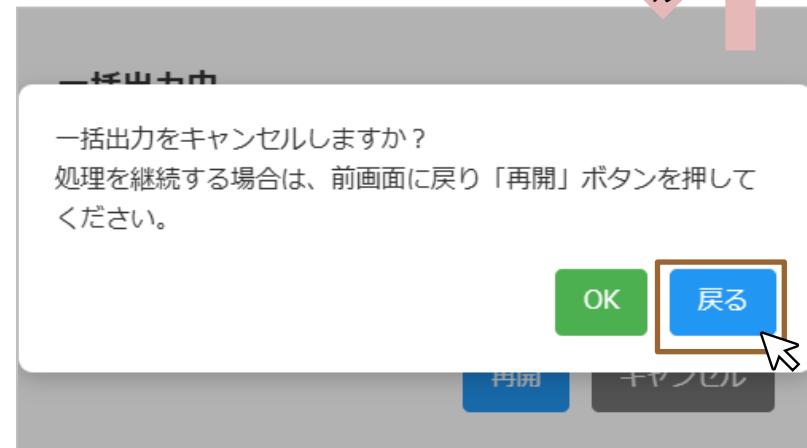
戻る

▼一括出力完了



「OK」ボタンでダイアログ画面を閉じる

▼キャンセル確認



「OK」ボタンで一括出力をキャンセル

・レコードの編集内容をスプレッドシートに同期

<STEP3>kintoneのアプリ上での編集内容をスプレッドシートへ同期します。
Google認証が有効な状態でレコード追加・編集・削除した内容はスプレッドシートに反映されます。

スプレッドシートに出力済のレコードを編集する

会社名
カサクモマーケティングテクノロジー

保存

シートに出力済のレコードをアプリ上で編集します。

会社名 部署名 先方担当者
傘雲マーケティングテクノロジー 営業 田中 浩二

TEL FAX メールアドレス

	A	B	
	レコード番号	会社名	部署名
	20	カサクモマーケティングテクノロジー	営業
1	レコード番号	会社名	部署名
2	20	傘雲マーケティングテクノロジー	営業
3	19	山田商事株式会社	営業部
4	16	石井精密機械工業	総務部
5	15	マネープラットフォーム株式会社	営業部
6	11	吉高ビューティ	営業企画部
7			

スプレッドシート上のデータもあわせて更新されます。

アプリに新しいレコードを追加する

キャンセル 保存

アプリに新規レコードを追加します。

会社名 部署名 先方担当者
キャップクラウド建設 管理部 東京 太郎

TEL FAX メールアドレス
03-XXXX-XXXX 03-XXXX-XXXX XXX@sanple.com

	A	B	C	D
1	レコード番号	会社名	部署名	先方担当者
2	21	キャップクラウド建設	総務部	東京 太郎
3	20	傘雲マーケティングテクノロジー	営業	田中 浩二
4	19	山田商事株式会社	営業部	山田 貴文
5	16	石井精密機械工業	総務部	石井 太郎
6	15	マネープラットフォーム株式会社	営業部	柴田 大将
7	11	吉高ビューティ	営業企画部	吉高 美智子
8				

スプレッドシートの2行目(ヘッダー下)にデータが追加されます。

【ご注意】

- ・Google認証されていない状態でのkintoneのアプリ上での編集内容は、スプレッドシートに反映されません。
Google認証後、「一括出力」を実行し、アプリ内の最新のデータをスプレッドシートに登録することを推奨いたします。
- ・kintoneのファイル読み込み機能を利用したレコード登録・更新はプラグイン動作対象外となります。

設定内容のインポートとエクスポート

プラグイン設定内容をJSON形式ファイルでエクスポートできます。また、JSON形式ファイルをインポートすることで設定内容を読み込み可能です。別アプリにプラグイン設定内容を反映させる場合に利用します。

▼設定のエクスポート

データ移行 ▼

ファイルを選択

データ移行欄右のアイコン「>」→「エクスポート」の順にクリックします。

インポート **エクスポート** 旧バージョンから設定を移行



JSONファイルがエクスポートされます。

▼設定のインポート

データ移行

ファイルを選択 **JSONファイルをアップロードし、「インポート」をクリックします。**

× settings.json

インポート エクスポート 旧バージョン



スプレッドシートとフィールド項目を設定 **JSONファイル内の設定内容に上書きされます。**

スプレッドシート一括セット | スプレッドシート列クリア | 5 | 追加 | 5 | 削除

kintoneフィールド	Googleスプレッドシート列マッピング
フィールドの検索	フィールドの検索
得意先コード (customerCode)	A 得意先コード (customerCode) ⊗ + -
得意先名 (customerName)	B 得意先名 (customerName) ⊗ + -
支社 (branchOffice)	
カナ索引 (kanaIndex)	

【ご注意】

データインポート時、プラグインの設定内容は上書きされます。設定済の内容が存在する場合は、操作にご注意ください。

使用上の注意

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

利用できるkintone のフィールドは以下になります。

フィールド種別	キー項目	グルーピング項目	出力フィールド
レコード番号	○	×	○
作成者	×	×	○
作成日時	×	×	○
更新者	×	×	○
更新日時	×	×	○
文字列(1行)	△※1	○	○
数値	△※1	×	○
計算	×	×	○
文字列(複数行)	×	×	○
リッチエディター	×	×	×
チェックボックス	×	×	○
ラジオボタン	×	○	○
ドロップダウン	×	○	○
複数選択	×	×	○
ルックアップ (文字列)	×	○	○
ルックアップ (数値)	×	×	○

フィールド種別	キー項目	グルーピング項目	出力フィールド
添付ファイル	×	×	×
リンク	△※1	×	○
日付	△※1	○	○
時刻	×	×	○
日時	△※1	×	○
ユーザー選択	×	×	○
カテゴリー	×	×	×
ステータス	×	×	×
作業者	×	×	×
テーブル	×	×	×
組織選択	×	×	○
グループ選択	×	×	○
関連レコード一覧	×	×	×
グループ	×	×	×
ラベル	×	×	×
スペース	×	×	×
罫線	×	×	×

※1 レコード番号、もしくは重複不可の設定済のフィールドのみ対応

使用上の注意

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■使用環境の制限

環境	対応	制限事項
モバイル	×	
ゲストスペース	×	
ゲストユーザー	×	
IPアドレス制限環境	△	cybozu.comが使用するIPアドレスを許可している場合は使用可 ※
セキュアアクセスオプション	○	

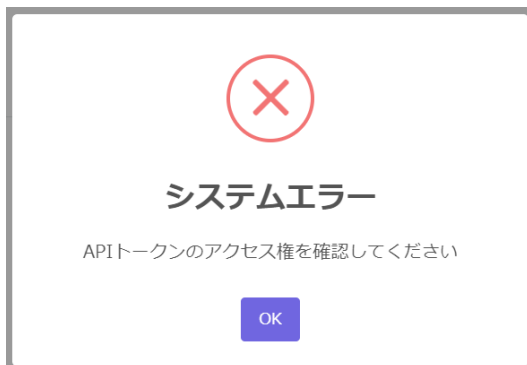
※IPアドレス制限環境での使用について

IPアドレス制限を設定しているkintone環境では、プラグインが正しく動作せず、エラーが発生する可能性があります。cybozu.comが使用するIPアドレスを許可することでアクセス可能となります。

▼cybozu.comヘルプ「cybozu.comが使用するドメインとIPアドレス」

https://jp.cybozu.help/general/ja/admin/outbound_ipaddress.html

▼エラー画面 イメージ



▼IPアドレス制限 設定画面

設定した IP アドレス以外からアクセスするには、「BASIC認証」の設定、または「セキュアアクセス」のご利用が必要となります。

CSVファイルによる一括設定 [参照](#) (最大10 MB)

IPアドレス *	CIDR	メモ
[Redacted]		
103.79.14.0	/ 24	

[+](#) 追加

[保存](#) [キャンセル](#)

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■一括登録に関する注意事項

- ・プラグインVer.4.0.0より前の製品では、一覧画面でのレコードの絞り込みは、一括登録の対象データに反映されません。絞り込み適用中も、全レコードを対象に一括登録を実行します。
- ・一括登録を行うと、スプレッドシートに出力済のデータが上書きされます。既にスプレッドシートにデータを出力済の場合は、操作にご注意ください。
※セル内の色塗りや文字大きさなどの書式に関する設定は上書きされません。

<グルーピング項目設定有のとき>

- ・出力先スプレッドシート内にグルーピング項目の値を名称としたシートが追加されます。
- ・同一名称のシートが既にスプレッドシート内に存在する場合、そのシートのデータが上書きされます。ただし未設定の列と空(カラ)設定している列にはデータは上書きされません。
- ・プラグインによって作成されたシートの名称を変更すると、グルーピング機能が正常に動作しないためご注意ください。

<グルーピング項目設定無のとき>

- ・出力先スプレッドシート内の一番左に位置するシートのデータが上書きされます。ただし未設定の列と空(カラ)設定している列にはデータは上書きされません。

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■その他の制限

- ・認証に利用したGoogleアカウントが、出力先のスプレッドシートの編集権限を持っていない場合、エラーが生じます。
- ・本プラグインではアプリのレコード件数に応じて、一括登録やレコード編集後の同期完了までの所要時間が変動します。アプリの設定内容によって処理可能なレコード数や所要時間は異なる為、レコード件数に上限値は設けておりませんが、実務での運用が可能な範囲でご利用ください。
- ・グルーピング項目やキー項目の変更後にそのままレコード情報を編集すると、プラグインが正しく動作しない可能性があります。グルーピング項目やキー項目の変更後は、一度「一括出力」を行うことを推奨いたします。
- ・Google認証されていない状態でのkintone上での編集内容は、スプレッドシートに反映されません。Google認証後、再度レコードを保存したタイミングで、シートに内容が反映されます。Google認証後、「一括出力」を行い、アプリ内の最新のデータをスプレッドシートに登録することを推奨いたします。
- ・kintoneのファイル読み込み機能を利用したレコード登録・更新は同期処理の**対象外**となります。ファイル読み込みによって登録・編集されたレコードは再度保存したタイミングで、シートに内容が反映されます。
- ・グルーピング項目設定時、プラグインによって作成されたシートの名称を変更すると、グルーピング機能が正常に動作しません。シートの名称は変更せずにご利用ください。
- ・スプレッドシートに出力可能なレコード数に関しては以下を参考にしてご利用ください。
Google スプレッドシートで作成したスプレッドシートまたは Google スプレッドシート形式に変換したスプレッドシートの場合は 1,000 万セルまたは 18,278 列(列 ZZZ)まで。
参考)Google ドライブに保管可能なファイル
<https://support.google.com/drive/answer/37603?hl=ja>



<製品に関するお問合せはこちらまで>

キャップクラウド株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-5-6 キュープラザ新宿三丁目

担当: Focus U(CI事業) サポート担当

メール: support@focus-u.jp 電話: 03-6824-1007

受付時間: 平日9:30~12:00/13:00~17:30(土日・祝日、当社指定休日を除く)